

御座山山行報告

【山行日】2020年 10月 25(日) 快晴

【集 合】岩舟支所P AM 5:00

【費 用】マイカー1台 : 3,100円

【メンバー】CL:鈴木、SL:関、青柳、
安西、島田、福島、藤原

【コースタイム】岩舟支所 P5:00=長者の森

P7:15/7:30~送電鉄塔 8:30/8:40~見晴台

9:20/9:30~御座山 11:00/11:20~見晴台

12:20/12:50~白岩コース分岐 13:20/13:30~

長者の森 P14:15/14:30=

道の駅「ヘルシーテラス佐久南」15:20/15:35=岩舟支所 P18:05

山行アンケートで御座山のリクエストがあり、「山の名前を解っているのかな?」と思いながら計画した。北関東道から上信越道を進み、無料区間の中部横断自動道を通して八千穂高原ICで降り



小海大橋を渡って北相木村に向かう。周りの山々は紅葉が見頃で、朝日を受けてとても美しい。登山口の長者の森は早朝はトイレが閉まっているので、手前の加和志湖脇の公衆トイレに寄る。長者の森駐車場の先を右折し、コテージの間を抜けて林道終点の駐車スペースに向かうが、林道が荒れていて手前のコテージ脇に車を止める。準備を整えたらストレッチを済ませて出発する。林道を10分ほど歩き、林道終点の登山口から登山道に入り、小沢を渡って尾根に取付く。

急坂を九十九折れに登り、やがてカラマツ林の中を木段で登るようになる。整備された広い登山道が続くが、傾斜は急でA氏の足が止まった。立ち休みして水分を補給し、汗が凄いのでダウンの上衣を脱がせる。その後も少し登ると足が止まるが、休みながら送電鉄塔まで登り休憩する。リンゴや菓子を食べてエネルギーを補給したら出発し、ここからは2班に分けて登ることにする。SLに4人をお願いし、A氏と我輩は後からゆっくり登ることにする。紅葉を楽しみながらゆっくり登るが、直ぐに立ち止まるので「立ち止まらないペースでゆっくり歩いて」と注意するが、少し登るとも立ち止まる。なんとか見晴台まで登ると先行隊に追いつき、一緒に休憩して菓子や果物をいただく。

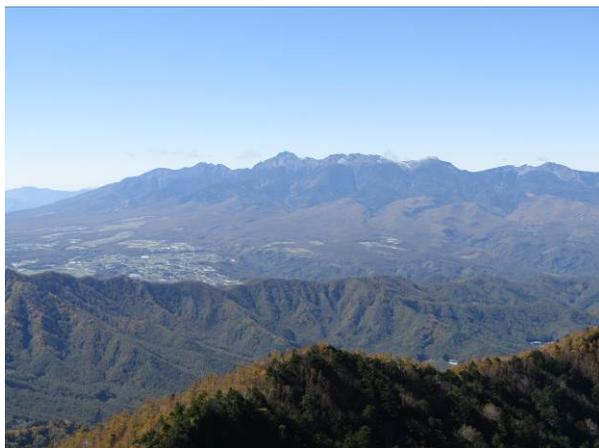


皆さんに「昼食はここに戻って食べることに変更します」と伝え、A氏のザックをデポして水とレインウェアは我輩が持って登る。後から2人でゆっくり登るが、急な登りになると立ち止まる。それで



も1班の姿が見えるので、自分のペースで登って行く。1班が前衛峰で休憩するとまた追いつき、下りは離れずについて行くが鞍部からの登りになるとまた離れてしまう。鞍部からはモミやツガの針葉樹林帯の急登になり、1班の姿が見えなくなる。立ち休みを繰り返しながらなんとか登り切り、避難小屋の先を右に進むと岩稜に出て展望が素晴らしい。山頂は岩稜を50mほど登った先で、1班の皆さんが待っていてくれた。山頂からの眺望は八ヶ岳全山が目の前に広がり、富士

山や先週登った金峰山等の山々が見渡せ、皆さん大感動！！岩場が苦手なA西さんも「こんな素晴らしい展望を見られるなんて感激！いつまでもここに居たい」と興奮気味。風も無く穏やかな日和に恵まれ、山頂の大パノラマを見られ本当に良かった心から思った。記念写真を撮り、展望を楽しんだら名残惜しいが下山する。下りはA氏も元気なので、全員一緒に下山する。下りは皆さん余裕で、会話が途切れることなく見晴台に到着する。ここでランチタイムとし、お湯を沸かして持参したスープやカップ麺をいただく。出汁巻き卵やピーモソ、ちくわなども並び、いつものようにお腹いっぱい食べて下山する。ここからは尾



根を緩やかに下って行くので、周りの紅葉を楽しみながら歩ける。赤や黄色のカエデやドウダンに、コナラやトチ等の葉も陽射しを受けて朱色に輝いて見える。白岩分岐で最後の休憩を取り、紅葉の中でナシやシャインマスカットをいただき至福のひととき。送電鉄塔を過ぎると急な下りになるが、黄色く染まるカラマツ林を見ながらのんびり下り駐車場所に着く。靴を履き替えたら車に乗り、長者の森駐車場に移動しトイレを済ませる。隣の売店を覗いたが、メロンパンくらいしか置いて

無く、道の駅「ヘルシーテラス佐久南」で買い物することにした。中部横断道は無料区間なので佐久南ICで降り、道の駅「ヘルシーテラス佐久南」に寄ってお買い物。

それぞれがリンゴや野菜などお土産をゲットし、車に乗ったら帰路につく。

途中、上信越道が少し渋滞したが、大した遅れは無く予定通り岩舟支所に帰着した。